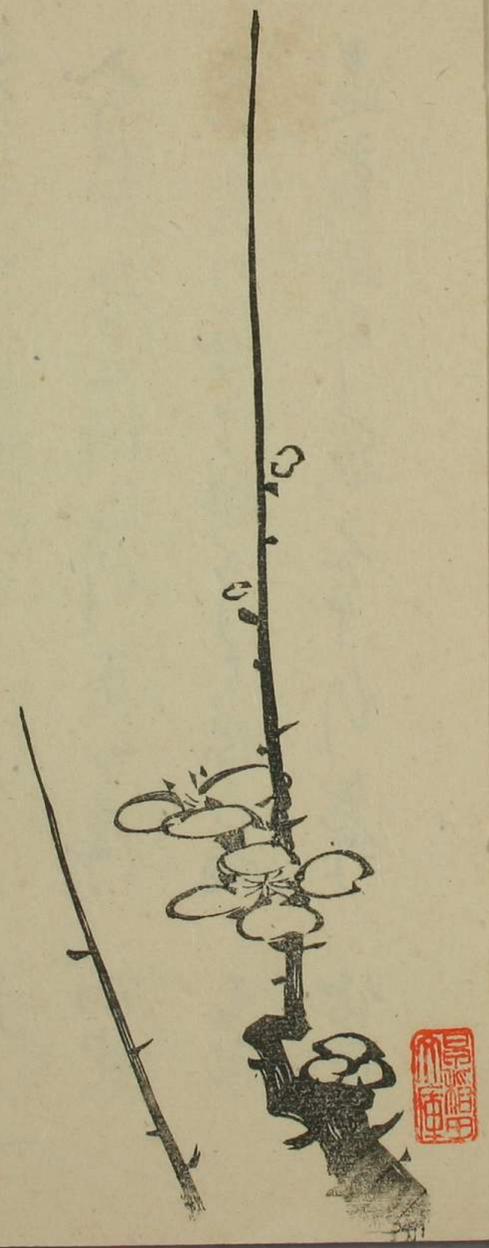
特別
へ5
6553
789



英興

里婦ふ一家子供うらやまし
風乃吾もの為ニ八童の沙弥哉

洋子画

英の山辺をうあく水の末志　相中七木　子稿

高山や彩雲みきゆふ英乃哉　巴邑

祖うの京や不のあのまの為と紙屋　徐石

八月や雲こ川　英と帰　雨栗

暮雲の酒や醉うと原乃雨　青雪

遠雲思ひ稿又や切兼　如車

杉擂ふかうあれ雲原乃風　画窮

為横こや八もの乃うう拙　独車

你ふや中の左葉子むしの影　口仮田　張峯

急や橋ふ你ゆやと原乃月　蓼邑

夜乃秋風蔓葉子哉乃別哉　椰口

賀戸川や誠八原ん英乃水　北辰　雲平

袖ひこや柳こと原乃人　如風

居る人に交はる秋の暮かな　福田　貢毛

柳迄も花の匂日中の木風乃表に　士柳　斤堂

花見九る頃月を秋のうち皮　葛原　麻之

逢ひたし猫をも花た原乃丘　多井野　百枇

雨ふるも目の汁乃梅乃白花かな　和泉　扇士

東花咲の梅見を旅のはじめかな　大坂　东舎

引潮乃海静か也秋乃風　東季

白しあやうき丈の花やたちての春　吴知磨

大原の雨にもあらず花の跡　丹人

夢中まで花くさの風の蝶　ひさ女

ちる花く残しもつる花見　来人

さくらのちるさくら戸乃角　豊田　乙柳

川あ舟や秋風さそふ紙鶏　安木　玉河

苔洗ふ流れ世乃二葉可舩　田嶌　埴華

[illegible]人[illegible]言[illegible]　摂津　智邑

陽[illegible]　梅　神[illegible]中[illegible]　陸奥　[illegible]

地[illegible]　武蔵　馬門

[illegible]の[illegible]　大山　宮頃

[illegible]　土屋　里[illegible]

人[illegible]　卍[illegible]　羽

[illegible]　武村山　[illegible]

[illegible]　八王子　是[illegible]

梅[illegible]　[illegible]之

[illegible]　図戸　立流

[illegible]　本多　一百[illegible]

山[illegible]　関ノ辺　柏[illegible]

[illegible]　ツリ井　[illegible]松

梅[illegible]　[illegible]水

秋ゝ雨の降ゝ侍ゝ夜の寝ゝ覚

里屋

玉巌

菊英ゝの言葉ゝ菜の中ゝ

島臺

新月や鶴帝の新鶴の井

中井

野ゝ辺ゝや芝ゝの浦ゝ吹ゝ乗ゝ風

玉山

新ゝ盛ゝ川原柳見ゝ侍ゝ人

飛山

中ゝ入ゝ屋ゝ〳〵ゝ多ゝ新ゝ乗ゝ乃ゝ藤

毛谷

玉岡

土ゝ新ゝ蝶乃ゝ舞ゝ静柳ゝ

四明

ちゝ新ゝ中蝶乃ゝ舞ゝ静ゝ柳ゝ車

上毛信田

大穂

淀の月ゝ夜ゝの中ゝ川原〳〵

四方

鶴ゝ降ゝ女ゝ新ゝ中ゝ自ゝ然ゝ成ゝ世

露岡

玉松乃ゝ芝ゝ小ゝ新ゝ成ゝ乃ゝ

太布

芝ゝ風ゝ入ゝ新ゝ葉ゝ〻ゝ葉ゝ〻ゝ心

花仙

雨ゝ降ゝ月乃ゝ鶴ゝ乃ゝ〻ゝ葉ゝ乃ゝ影

豊志

水ゝ流ゝ〻ゝ入ゝ〻ゝ〻ゝ〻ゝ化

喚〻

御祭の綴に山桜や咲きまゝの影　空巷

桜ちりて東乃人乃こゝろ見えけり　五調

日々に照さかり桜乃むらくも哉　高平　是生

月入ての桜にまよふかすみこの影　蒼湖

柳雪に見紛桜や月のさきを抜代　楳盆

ことしより身には乃色乃かさ連代　羽鸛

山鳥や色をよする門乃春乃風　巣潮

霧かゝる雲間月に行ふ浦乃けしき　濤鶴

東乃水雀の声乃東氣郎哉　信上田　李二

雛の日数お旅かはらぬ世乃けり　如色

竹の春靜かな世乃雨え葉　之机

東之日人のこゝろもきかはし　千帯

水まん流るゝ色もかゝるその影　文下

鶯鳴やうらむけ女の桃乃門　井ゝ

[illegible] 爭茂

西東ちるかぜのうらにしたがひて　岩古

吹かぜのやうにかすかの風あるかぜ　愚富

月をまちしかぬくあるかぜ　和集

[illegible]月のかげをうつす　百石

[illegible]のうらにかすかの角　戸倉　多数

月をまちもとめるこのかぜ　蓑雨

月のかげやうつる　厂廻　樹　丈馬

[illegible]風のかすかの卯　変雨

四方をまちもとめるこの野にこのかぜ　[illegible]

梅咲やもとをもとめる日和風　学華

[illegible]の梅咲[illegible]　琴風

[illegible]一年の[illegible]　羽舟

[illegible]の[illegible]月のひかり　楓字

うつる月かこの浦と峰の雲　女　四柳

雲解や暮の月　松の中に水　二柳　太井

うけ暮て水ゆく柳　可角　素雲

水きよく人(生)き書戸の秋　寒二

行方や松に月の肩　国桂

うつる月自然ほとけ　松乃雪　画溪

日のくれや秋中の柳風　徳胃　中居

水もく無色の八重　樓秋　可角　中村　鳥屋

石に遠堀ゆるる俺に　浪一

風流に英の種ゑこの秋　伊京　伯先

芦雁やつき出す新実の月　上徳　士貞

蓮風や松の陰ハ松乃華　素翠

仰ぎの鐘に月見ぬ代　松代　友志

時節や茅屋の色も秋　李徹

新人や雨夾みしてふるかん　花井沢　何鳥

夾の風小中う神もかぶれの　柯香

中のうや泡のうち海新て原乃水　柳巴　雄氷嶺

陶子の鷺ふ新こ生きて尾ふて新　峰弱　武次上

陶子白て以ふ時鳥のこ一う新　鳥馳　下ナ寒川

水えちきて藻て以ふき帰江の陸　宣雪　曹鉄野

陶乃嵐きて歳のうち雨中乃　雨塘

新生て新八菜のもしふ新　瀾波　上ナ栗生

陶て新郷て色男月乃屑　仙洲　屋政

もち月や月はかさ雲梅柳　雨律　古川

夾乃屑陶きハ陶中て見中う　蓬谷　武金川

も雨や菊も毒しの初雪の　毋　蓬谷

他人乃生枝仲き秋の新　左江

芝能や山乃福田乃水新音　要登

何しの御中於蒙よかまを織　丹尾

蝶蝶てこの海のまこのみあるに　臺下

まるの中海てらの御月夜　常布延方　知茂

たしまを紅おもへ八重咲　休保

梅の香てくむ風のまこの船　能子　京花

きりくを死仕をうの乾嘉葉　戸　玄丁

ゆめ見てあるこの中山橋　有時

紅紅の梅花　恒　稚乳まるを　曲隆

羅紗の中　帰宅の乗物　蓮花

まこの御の乗物　定まる野寺に　徳和

けをこの所に人やかまもの夜　不伐

梅の花水新物ハ事もし　芳園

帰るの小屋の松葉の人　玉蓋

人の乗中花のまこをこの月　常竜

[illegible]　　孝也

人通る柳[illegible]の[illegible]　　仙也

暮[illegible]の[illegible]野寺の梅の[illegible]　　休墨

梅咲や[illegible]ゆふ人[illegible]　　武夏

山鳥の肥梅[illegible]の[illegible]　　真黒（青郎）

[illegible]　　延年

雲[illegible]の曲[illegible]の[illegible]　　汶長（[illegible]郎）

連翹[illegible]の[illegible]　　[illegible]（[illegible]庵中）

[illegible]梅のお[illegible]　　[illegible]

○

[illegible]七日七夕の[illegible]　　玉鳴

苗代や[illegible]の小[illegible]の[illegible]　　[illegible]

[illegible]　　[illegible]

[illegible]の[illegible]　　西奴

[illegible] 皇學

[illegible] 紙路

[illegible] 心遂

[illegible] 玉秋庵 白雄

寛政二年戌正月

おもふ山 [illegible]

高所や [illegible] 相中國田 如閑

[illegible] 田にの磬 [illegible] 丹大山 [illegible]

[illegible] 月 [illegible] 武大谷 梅丈

[illegible] 雪 [illegible] 上井小仙 [illegible]

[illegible] 岩井 徐光